

## 自分を知ること

中日の吉見一起投手が引退を発表し、会見が行われました。「投手陣に期待するところ」と質問され、「勝ち方を知れば勝てると思うし、もっと簡単に勝てると思う。でも、ただ勝つだけではなくて、僕が思うのはもっともっと自分を知ってもらいたい。自分を知って、何をしなくちゃいけない、何をすべきかを分かればもっと成長できると思う。いいところは続けてもらって、余裕があれば自分を知るということを少し、興味を持ってもらいたいなと思います。」と答えています。「自分を知ること」が大切だという点に大いに共感し、ニュースを見ました。

これから1年生は文理選択、2年生は志望校を考えそれに合わせた科目選択、3年生は受験校を絞り込む段階にきています。今、何をいしなければならぬのか、何をすべきなのかを考えるために、自分を見つめる時間をしっかりもってください。妥協するときではありません。考える時間をしっかり確保すること、そして本気で悩むこと、それが成長への第一歩、夢を叶えるための第一歩になると思います。

(文責 堀)

### 『3年の窓』

### 受験勉強の「心・技・体」について自分を振り返ってみよう☆

**心**…受験勉強においては、心が折れたり弱気になったりすることはいくらかでもありますが、全国の高校生が同じ気持ち。残された時間も平等です。目の前のことを黙々とやりましょう。ただし、一人ではないと感ずることで、強気でポジティブな自分になれるというのも事実です。先週、学年写真に添えたい言葉を募集したところ、たくさんのアイデアが集まりました。「俺がいる。」という渋いものから、英語・日本語を駆使した格言、「3, 2, 1, 開け! 夢の扉!」などというポップなものもありました。その時々の気分に合わせて、廊下に並んだいろんな言葉に力をもらえそうです。ありがとうございました!

**技**…最近、少しの隙間時間にも単語帳を見たり、みんなで問題の解法についてわいわい話したりしている様子をみかけます。また、プリントや進路資料室のセンター過去問集なども活用してくれています。やはりどう問われるかを意識して経験値をあげていくことが大事です。逆に、何度もダメーの選択肢にひっかかってしまう問題は、教科書や資料集を見直すなど、初心にかえることも必要ですね!

**体**…夕方くらいに「今夜は2時くらいまでやるぞ〜」と決意した日ほど、やる気が起きない、気が散る、居眠りはありませんか?時間がたっぷりあると思うほど集中力は落ちます。▲時までには終わらせたなら〇〇!と目の前に「人参」をぶらさげたり、お風呂などのルーティーンを組みこんで時間単位の能率をあげましょう。スッキリした頭とコロナに負けない体で会場に向かうため今日から整えていくべし!です。(文責 桑原)

## 『2年の窓』

戦う前に勝つ！それが必勝の極意！！

「勝兵は先ず勝ちて而る後に戦い、敗兵は先ず戦いて而る後に勝を求む」

最近私は孫子の言葉から学ぶことが多いです。勝つ人はまず勝ちを決めてから戦う。とりあえず戦ってみて勝とうとする人は負けるのだと孫子は言っています。勝ちを必然的なものにする。今のままでは届かない志望校に対して、これから必然的な勝ちにもっていくのです。そのためには何が必要でしょうか？

### ①相手を知る

相手を調べ尽くし情報を得ることでその対策ができます。一般入試においてどれくらいのレベルの問題が出題されるか。推薦入試においてどんな学生を必要としているか、自分に合うか、研究内容、など志望校に対して、受験者の誰よりも自分が知っていると自信をもって言えるようにするのです。

### ②自分を知る

以前、進研模試や希望者の全統模試がありました。解いてみて、自分が知れましたか？今の自分のレベルが分かりましたか？たまにいます。自分の実力を全く顧みず、難関大学へ挑もうとする生徒が…。目指すのは自由ですが、自分の実力を直視し、そこからどうやって合格ラインまでもっていくかを考え、実行する必要があります。

### ③苦手を克服して守備を固める

苦手は穴です。穴をふさがなければ、それが原因で負けます。満点はとらなくていいのです。合格ラインに乗せれば…。苦手科目は手をつけていないことが多いです。手をつければ簡単に結果がでます。苦手科目の点数が現在20点だとしたら、そこから50点、60点にするには基本を行えばいい。得意科目の場合、現在の点数が80点だとしたら残り20点しか伸びしろがなく、またその10点、20点を上げるのは難しいです。苦手科目を克服することで全体の点数が大きく伸び、満点でなくとも合格ラインに持っていきます。

勝ちを必然にする。私は個人的に非常にかっこいいことだと感じます。

(文責 湊谷)

## 『1年の窓』 科目選択を間違えると

卒業生の話ですが、数年前にこんなことがありました。もともと薬剤師になりたいと考えていた生徒Aさんがいました。薬剤師になるためには理系に進む必要があります(理科、特に化学をみっちり勉強する必要があります)。ところがAさんは、1年生のこの時点で何を考えていたのか、文系クラスを選択してしまいました(どうして文系を選択したかは不明です)。2年生になったAさんは、文系クラスからでは薬剤師になるのは無理とわかり、同じ医療職として臨床放射線技師を目指すことにしました。ところが、放射線技師の資格が取れる大学のほとんどは、理系からでないと受験ができません(物理または化学、数学Ⅲの試験があるケースが多い)。3年生になったAさんは大騒ぎをし、担任や進路の先生を巻き込んでいろいろと大学を探した結果、例外的にB大学(レベルはあまり高くありません)とC専門学校は、文系からでも受験できることがわかりました。結局AさんはB大学に入学を決めました。Aさんは学力の高い生徒で、B大学ではもったいない感じがしましたが、他に選択の余地が無かったわけです。

このように1年生でのコース選択や科目選択を誤ると、その後の進路選択に重大な影響を及ぼすことがあります。迷いがある人は、自分の頭だけで考えるのではなく、担任の先生、保護者、先輩、教科担任の先生など、多くの人からのアドバイスをもらって、後悔のない選択をしましょう。11月中には意思決定をしてください。

(文責：岡崎)

## 【進路からのお知らせ】

※総合型選抜(AO入試)の結果が出てきました。11月6日現在で国公立大学の合格者が3名です。

愛媛大学 1名

高知工科大学 1名

長野県立大学 1名

※今年度の「大学入学共通テスト」の本校受験者数 175名(96.7%)

